



2021年1月期 第2四半期 決算説明資料

ベステラ株式会社
東証第一部(証券コード:1433)

決算のポイント

売上高 1,636 百万円	<ul style="list-style-type: none">•売上高は対前年271百万円(14.2%)減•コロナ禍により大型工事の着工が下期へ変更となったため、第2四半期会計期間の完成工事が前年対比で減少
営業利益 11 百万円	<ul style="list-style-type: none">•営業利益は、大型工事の着工時期変更による減収のため、対前年142百万円(92.6%)の減益
受注残高 2,298 百万円	<ul style="list-style-type: none">•受注残高は、大型工事の受注に支えられ、対前年1,465百万円(175.9%)の増加
業績予想	<ul style="list-style-type: none">•受注残高や工事案件の引き合いの状況が順調に回復しているため、現時点での業績予想を算定
リバーホールディングス(株) 持分法適用関連会社化	<ul style="list-style-type: none">•当社会長、吉野佳秀が、リバーHD社取締役就任予定•日本の静脈産業のプラットフォームを作ること高度循環型社会を実現することを目的とする

トピック リバーホールディングス(株)の持分法適用関連会社化

日本の静脈産業のプラットフォームを作ること高度循環型社会を実現することを目的として、リバーHD社を持分法適用関連会社化予定

持続可能な開発目標
(SDGs)の実現
「高度循環型社会」
の構築



発行済み株式の15%保有
代表取締役の派遣



- 当社の代表取締役会長である吉野佳秀が、リバーHD社の社外取締役候補者に選任されました。
- 2020年9月に開催予定のリバーHD社株主総会での承認を前提として、リバーHD社は当社の持分法適用関連会社となります。
- 相互に役員を派遣する連携体制を採用することで、人的交流を図り、お互いの事業展開をより積極的かつ機動的に行います。

損益計算書: 第2四半期(2021年1月期)

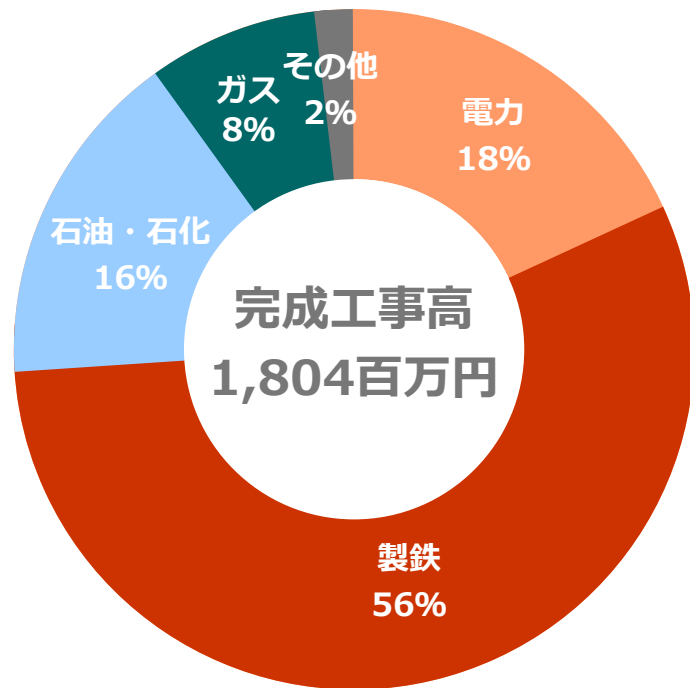
売上高は、コロナ禍により大型工事の着工が下期へ変更となったため、前年同期比14.2%の減収となりました。営業利益に関しては、前年同期比92.6%の減益となりましたが、工事着工に伴い順調に回復すると見込んでおります。

単位: 百万円

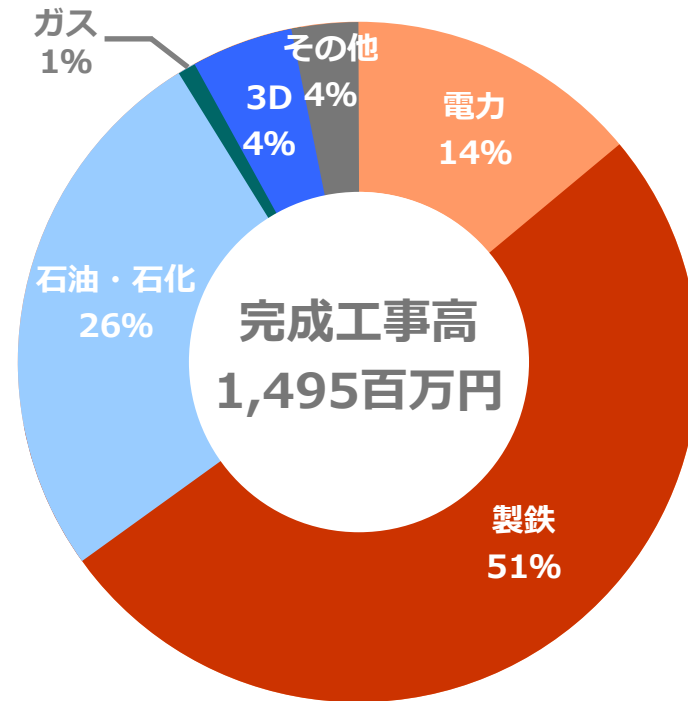
	2021年1月期 第2四半期	対売上高 比率	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	1,636	—	1,907	▲271	▲14.2%
売上総利益	303	18.5%	434	▲131	▲30.2%
販売費及び 一般管理費	291	17.8%	280	11	4.0%
営業利益	11	0.7%	153	▲142	▲92.6%
経常利益	17	1.1%	153	▲135	▲88.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6	0.4%	101	▲94	▲93.8%

業界別 完成工事高構成比率

前期は、西日本における製鉄所の工事が多くなっており、製鉄の比率が高くなっていました。今期は、注力する元請工事への積極的な営業活動に伴い、石油化学業界の比率が増えています。



2020年1月期（第2四半期）

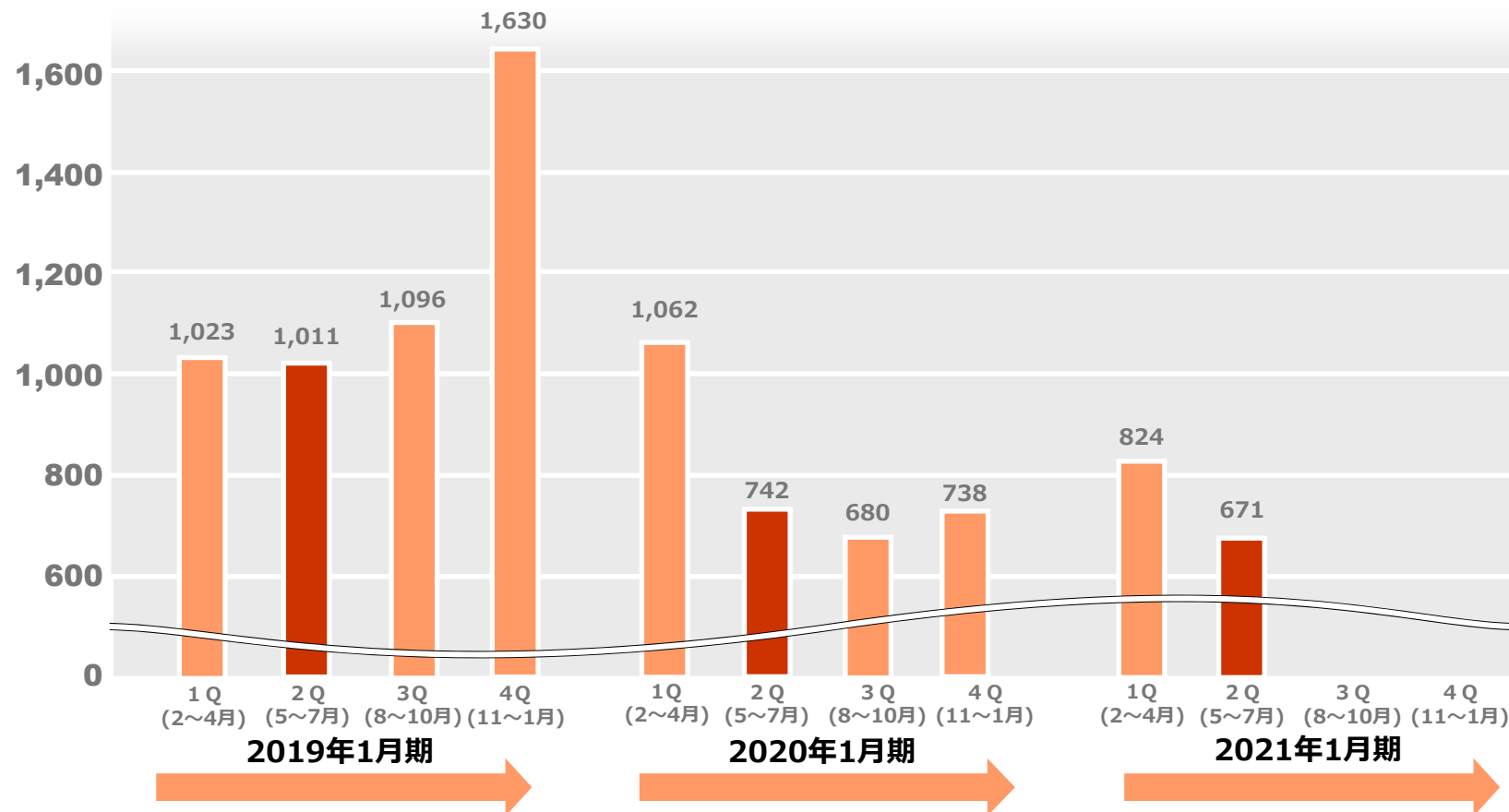


2021年1月期（第2四半期）

完成工事高の推移について

当社の完成工事高は、顧客(施主)の設備投資計画に応じた季節性があります。今期も例年通り、下期に完成工事高の増加を予定しております。

単位: 百万円



販売費及び一般管理費：第2四半期(2021年1月期)

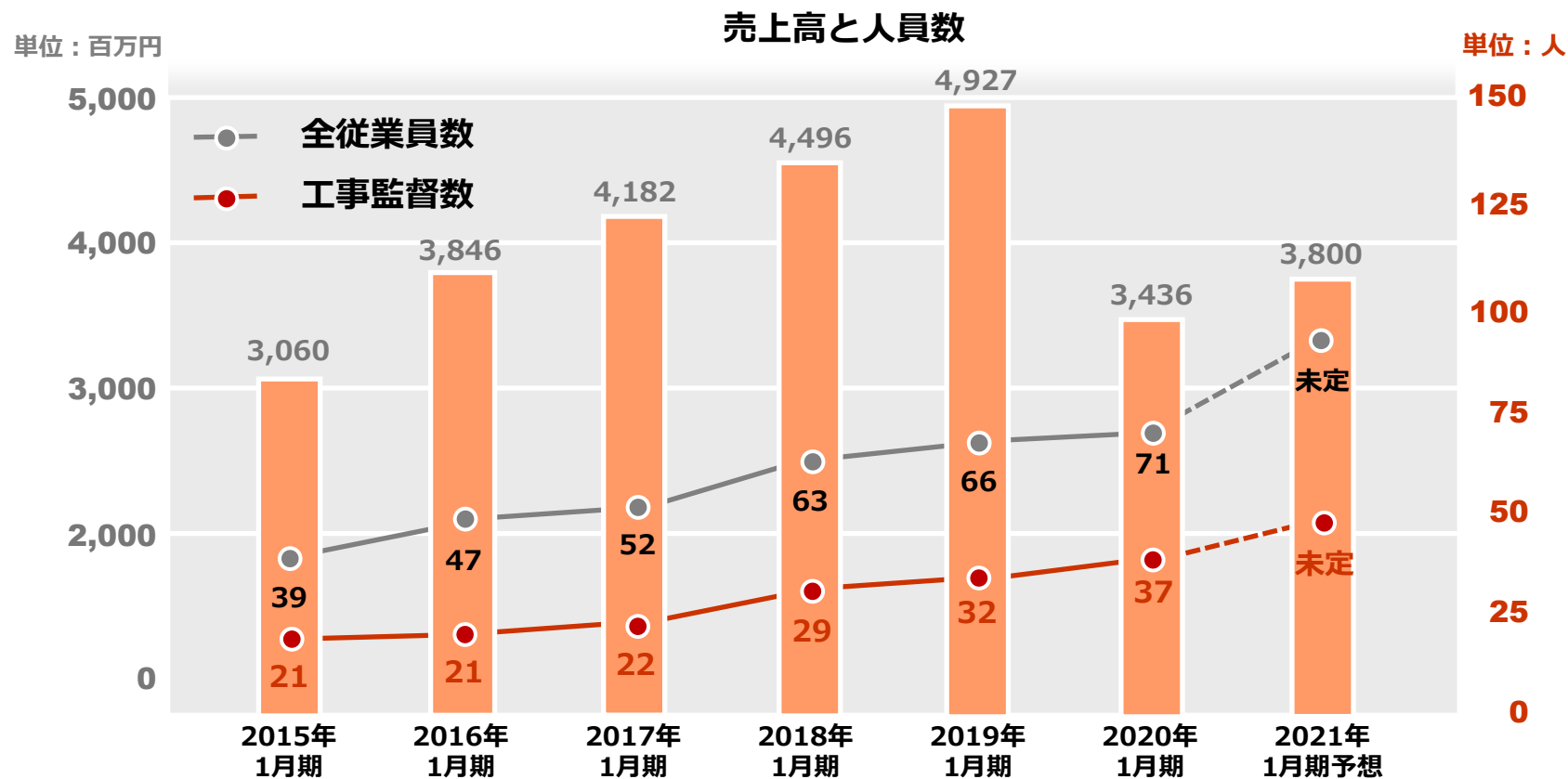
販管費は、人員採用を積極的に行ったことや、従来第4四半期に一括計上していた賞与について、四半期ごとの利益平準化を図るために引当金を計上したことで人件費が増加しております。

単位：百万円

	2021年1月期 第2四半期	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	主な増減要因
人件費	161	132	29	22.0%	人員増および賞与引当金の新規計上
研究開発費	0	12	▲12	▲100.0%	ロボット開発費減少
支払手数料 支払報酬	30	27	2	9.7%	新規特許取得費用
採用費	11	8	2	33.6%	広告媒体、紹介手数料等
広告宣伝費	2	7	▲5	▲69.5%	展示会減少
その他	86	92	▲5	▲6.3%	
合計	291	280	11	4.0%	

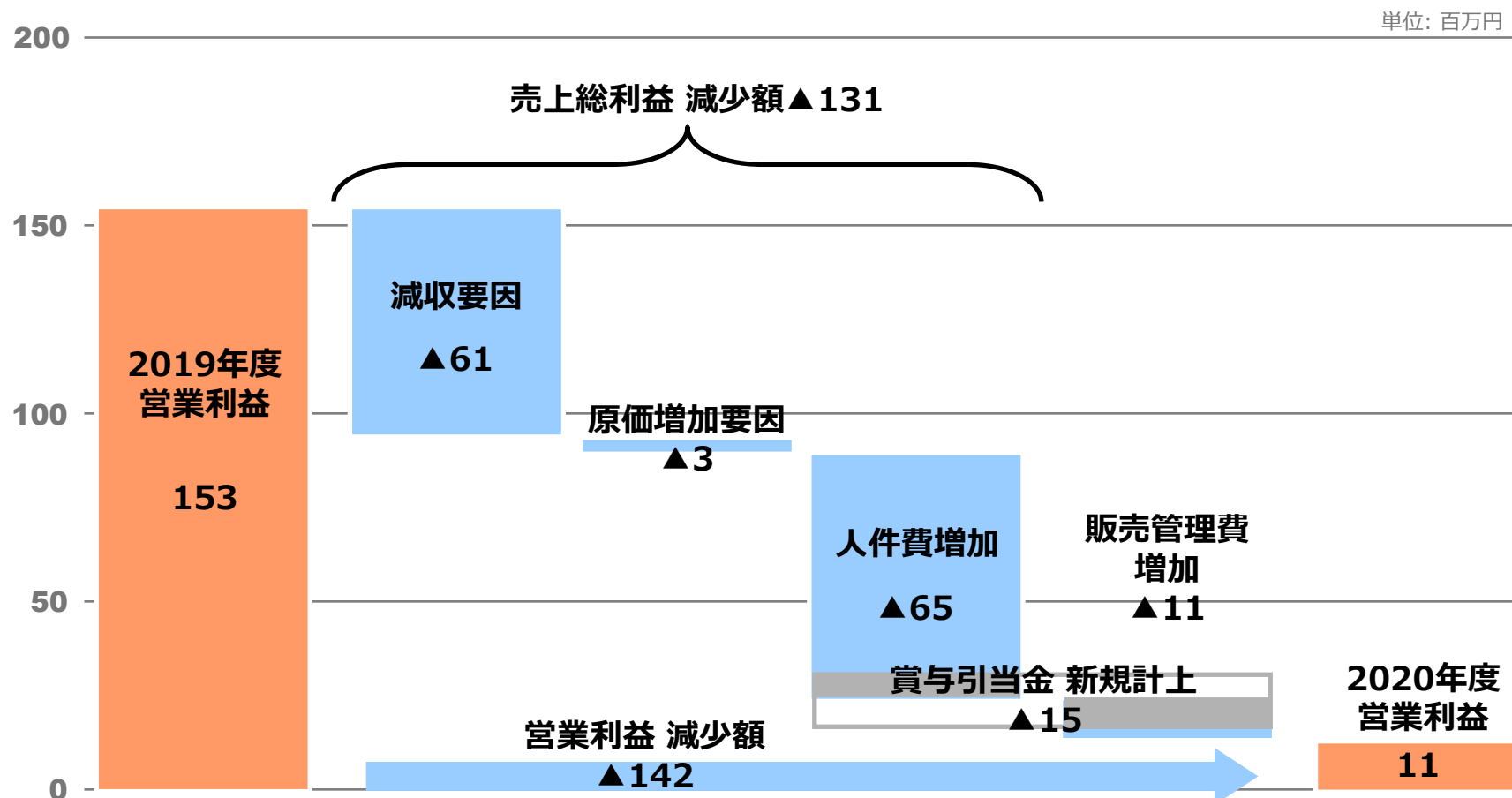
従業員数および工事監督数の推移

当社の持続的成長のためには工事監督の増員が不可欠となっており、積極的に採用に取り組んでまいります。第2四半期末現在、**工事監督数は、期首から4名増の41名**となっております。



営業利益の増減要因分析(個別):第2四半期(2021年1月期)

大型工事の着工時期が下期になったことによる減収要因と、賞与引当金の導入の影響により、営業利益は、対前年142百万円(92.6%)の減益となっています。



貸借対照表：第2四半期(2021年1月期)

単位：百万円

	2021年1月期 第2四半期	前事業年度末	増減額	主な増減要因
流動資産	2,684	1,965	719	運転資金の増加と売掛債権の増加によるもの
(うち現金預金)	(1,461)	(938)	(522)	
固定資産	2,074	2,975	▲901	投資有価証券の評価替えによるもの
流動負債	775	770	4	工事増加による短期の未払金増加によるもの
固定負債	2,466	1,629	836	長期借入金の増加によるもの
純資産	1,518	2,540	▲1,022	投資有価証券の評価替えによるもの
総資産	4,759	4,941	▲181	

受注状況：第2四半期(2021年1月期)

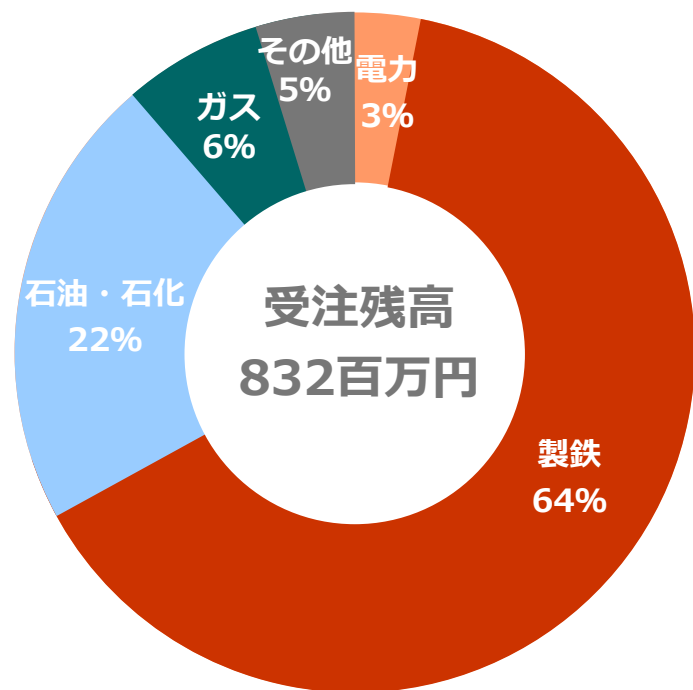
受注残高は、受注状況が好調なため、前年同期比で大幅な増加となっております。コロナ禍の中でも、工事に携わる人員の安全を最大限に配慮して工事を進めてまいります。

単位：百万円

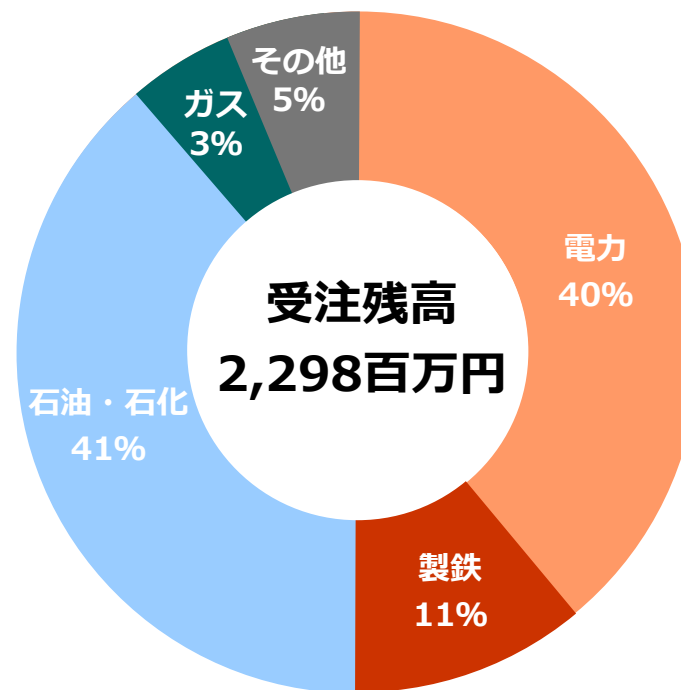
	2021年1月期 第2四半期	前年同期	増減額	増減率
期首繰越工事高	1,046	1,021	25	2.5%
受注工事高	2,746	1,615	1,130	70.0%
完成工事高	1,495	1,804	▲309	▲17.1%
期末繰越工事高 (受注残高)	2,298	832	1,465	175.9%

業界別 受注残高構成比率

注力する元請工事への積極的な営業活動により、電力および化学業界で大型工事の受注があり、各業界の比率が高くなっております。全ての業界に共通して、解体需要は好調に推移しております。



2020年1月期（第2四半期）



2021年1月期（第2四半期）

業績予想 (2020年1月期)

受注残高や工事案件の引き合いの状況が順調に回復しているため、現時点での業績予想を算定いたしました。感染症の状況は不透明なものの、コロナ禍の影響による余剰設備の増加が続くと予測しております。

単位: 百万円

	業績予想 2020年1月期	実績 2019年1月期	増加率
売上高	3,800	3,436	10.6%
営業利益	120	93	28.8%
経常利益	200	97	105.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	130	59	116.8%
1株当たり 当期純利益	15円	7円	—
1株当たり配当金	16円	16円	—
配当性向	101.3%	219.5%	—

本資料についてのご留意事項

- 本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因を受けます。
- 本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

ベステラ株式会社



Copyright © BESTERRA CO., LTD All rights reserved.

